

目標の柱	4	次世代の地域を担う人材の育成
基本目標(政策)	4-1	自ら学ぶ人を育み、支援します
基本計画(施策)	4-1-1	教育環境の整備充実

	課	係
主管課・係	学校教育課	学校係
関係課・係		

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①子どもたちが安全安心に学校生活を送り、人間性や社会性を磨くことができる。 ②子どもたちが主体的に学習に取組、確かな学力を身に付けるとともに、郷土愛に満ちた思いやりのある心豊かな人を育てることができる。</p>																																											
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①子どもたちが切磋琢磨できる教育環境の整備、安全を最優先した学校施設の整備、情報活用能力を育成する教育機器の整備。 ②学力の向上や豊かな心、健やかな身体を育成するための教職員の適正配置、コミュニケーション能力の向上等、次世代の地域を担う人材の育成。</p>																																											
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">単位</td> <td>令和元年度</td> <td colspan="2">令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>学校が好きな児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>小80.4 中68.5</td> <td>小90.0 中90.0</td> <td>小87.4 中65.3</td> <td>小90.0 中90.0</td> <td>小92.0 中92.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>思いやりのある児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>小77.0 中77.2</td> <td>小90.0 中90.0</td> <td>小87.0 中73.8</td> <td>小90.0 中90.0</td> <td>小90.0 中90.0</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>南会津町をもっと良くしたいと思う児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>小68.6 中58.8</td> <td>小75.0 中70.0</td> <td>小68.4 中49.1</td> <td>小75.0 中70.0</td> <td>小70.0 中80.0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>地域の教育資源を活用している学年の割合</td> <td>%</td> <td>小100.0 中100.0</td> <td>小100.0 中100.0</td> <td>小88.1 中66.7</td> <td>小100.0 中100.0</td> <td>小100.0 中100.0</td> </tr> </table>	単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A	学校が好きな児童・生徒の割合	%	小80.4 中68.5	小90.0 中90.0	小87.4 中65.3	小90.0 中90.0	小92.0 中92.0	B	思いやりのある児童・生徒の割合	%	小77.0 中77.2	小90.0 中90.0	小87.0 中73.8	小90.0 中90.0	小90.0 中90.0	C	南会津町をもっと良くしたいと思う児童・生徒の割合	%	小68.6 中58.8	小75.0 中70.0	小68.4 中49.1	小75.0 中70.0	小70.0 中80.0	D	地域の教育資源を活用している学年の割合	%	小100.0 中100.0	小100.0 中100.0	小88.1 中66.7	小100.0 中100.0	小100.0 中100.0
単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度																																						
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																							
A	学校が好きな児童・生徒の割合	%	小80.4 中68.5	小90.0 中90.0	小87.4 中65.3	小90.0 中90.0	小92.0 中92.0																																					
B	思いやりのある児童・生徒の割合	%	小77.0 中77.2	小90.0 中90.0	小87.0 中73.8	小90.0 中90.0	小90.0 中90.0																																					
C	南会津町をもっと良くしたいと思う児童・生徒の割合	%	小68.6 中58.8	小75.0 中70.0	小68.4 中49.1	小75.0 中70.0	小70.0 中80.0																																					
D	地域の教育資源を活用している学年の割合	%	小100.0 中100.0	小100.0 中100.0	小88.1 中66.7	小100.0 中100.0	小100.0 中100.0																																					
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	<p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>④ 下回った 小学生、中学生とも高学年になるほど低い傾向がある。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>小学生、中学生とも高学年が、学校生活における責任感の増加や受験等への不安増加により低い傾向がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>④ 下回った 臨時休業等による影響が考えられる。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>R元年度から教科化した道徳に期待する。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>④ 下回った 小学生、中学生とも高学年になるほど低い傾向がある。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>少しずつ上昇しているため、地域の状況を把握できる機会を設ける。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>⑤ 大きく下回った 校長会で活用を依頼したり、教職員を対象とした研修会を実施できなかった。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>引き続き、校長会等で活用を依頼する。</td> </tr> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A	④ 下回った 小学生、中学生とも高学年になるほど低い傾向がある。	③ 取組改善で達成可能	小学生、中学生とも高学年が、学校生活における責任感の増加や受験等への不安増加により低い傾向がある。	B	④ 下回った 臨時休業等による影響が考えられる。	③ 取組改善で達成可能	R元年度から教科化した道徳に期待する。	C	④ 下回った 小学生、中学生とも高学年になるほど低い傾向がある。	③ 取組改善で達成可能	少しずつ上昇しているため、地域の状況を把握できる機会を設ける。	D	⑤ 大きく下回った 校長会で活用を依頼したり、教職員を対象とした研修会を実施できなかった。	③ 取組改善で達成可能	引き続き、校長会等で活用を依頼する。	<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の理解を得ながらより良い教育環境の実現のため、学校統合を実施した。 ・学校の耐震補強・大規模改修を行い、その後は必要に応じた学校施設の修繕を実施した。 ・高度化する情報化社会で生きる力を育むため、電子黒板の整備や学習用タブレット等の導入を実施している。 ・教育大綱に基づく教育課程の編成や、幼稚園、小、中学校と段階に応じた郷土愛を育む学習等を実施した。 																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																									
A	④ 下回った 小学生、中学生とも高学年になるほど低い傾向がある。	③ 取組改善で達成可能	小学生、中学生とも高学年が、学校生活における責任感の増加や受験等への不安増加により低い傾向がある。																																									
B	④ 下回った 臨時休業等による影響が考えられる。	③ 取組改善で達成可能	R元年度から教科化した道徳に期待する。																																									
C	④ 下回った 小学生、中学生とも高学年になるほど低い傾向がある。	③ 取組改善で達成可能	少しずつ上昇しているため、地域の状況を把握できる機会を設ける。																																									
D	⑤ 大きく下回った 校長会で活用を依頼したり、教職員を対象とした研修会を実施できなかった。	③ 取組改善で達成可能	引き続き、校長会等で活用を依頼する。																																									
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会常任委員会の視察や教育委員の定期的な訪問により現状の把握に努めている。また教育用パソコンの更新も計画的に行っている。 ・児童生徒が主体的に取組、学力の向上や豊かな心を育成するための教育活動は展開されている。その柱として幼稚園から高校まで通じた英語が話せる人材育成や、農山漁村交流事業などを実施している。 																																											

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にとって一定規模の集団での教育活動が保障され、社会性や人間性の育成が図られた。 ・児童生徒にとって安全、安心で学習や学校生活を送ることができる環境の改善が図られた。 ・生徒の英語学習への意欲や異文化に対する興味関心が高まり、コミュニケーション能力の育成や異文化理解が図られた。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のよりよい教育環境整備のため、減少する児童生徒の今後の状況を考慮し、学校の適正配置の検討が必要。 ・次世代に地域を担う人材を育成するため、英語によるコミュニケーション能力の育成や異文化理解を深める取組が必要。 ・地域について学び、郷土愛を育む教育活動の推進を継続して行うことが必要。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>国際的視野や感覚を身につけるためには、違いを受け入れる柔軟性を養う、地理感覚を養う・歴史を学ぶ、観察力を養うなどある程度の時間がかかるが、小学校、中学校、高校とステップアップし実現性・効率性を高めたい。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>教育大綱の実現のために、次世代の地域を担う人材を育成するための教育の充実を行う。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	目的	問題を抱える児童生徒の様々な環境に働きかけを行い、相談体制を整えとともに、問題行動の未然防止と課題解決を図る。		
			概要	特別に支援を要する児童生徒への指導等の学校が抱える課題について、スクールソーシャルワーカーを配置(R元から3名)し、早期解決を図る。		
			成果	家庭と学校との連携を深め、教育環境の充実が図られた。		
		学校係	問題	対象ケースが増加していること、家庭における教育、理解不足、学校の体制整備が不十分な点がある。		
			対策	①継続 各学校の現状を把握し、スクールソーシャルワーカー要請や学校の支援体制のあり方、保護者の意識改革について検討する。		
			事業費	9,893	11,948	10,954
02	県立田島高等学校後援会事業補助金	学校教育課	目的	田島高等学校後援会事業の充実を図る。		
			概要	生徒の学力向上や部活動、中高一貫教育事業等へ助成する。		
			成果	授業及び部活動等の支援により、学校運営の充実が図られた。		
		学校係	問題	近年、入学生徒数が減少傾向にあり、県から田島・南会津高等学校統合の計画が出された。		
			対策	①継続 生徒数の増加につなげるため、教育活動の充実等魅力化を高める支援を行っていく。		
			事業費	6,722	5,218	6,610
03	県立南会津高等学校生徒数確保支援事業補助金	学校教育課	目的	南会津高等学校生徒数確保支援事業の充実を図る。		
			概要	冬季スクールバス運行や生徒遠征費等への助成など、生徒確保に向けた取組を支援する。		
			成果	授業及び部活動等の支援により、学校運営の充実が図られた。		
		学校係	問題	近年、入学生徒数が減少傾向にあり、県から田島・南会津高等学校統合の計画が出された。		
			対策	①継続 町・関係団体及び地域全体で存続に向け働きかける。		
			事業費	4,933	5,408	5,950
04	県立高等学校通学生徒支援事業	学校教育課	目的	県立高等学校への通学に対する体制の整備を図る。		
			概要	田島地域から南会津高等学校までのスクールバス運行事業。		
			成果	通学体制の充実により、田島地域から南会津高等学校への通学が容易となり、入学者が一定数確保されている。		
		学校係	問題	近年、入学生徒数が減少傾向にあり、県から田島・南会津高等学校統合の計画が出された。		
			対策	①継続 町・関係団体及び地域全体で存続に向け働きかける。		
			事業費	5,636	7,143	6,730
05	スクールバス運行	学校教育課	目的	遠距離通学児童・生徒に対する通学の利便を図る。		
			概要	遠距離通学児童・生徒に対するスクールバスの運行。		
			成果	児童生徒の通学の利便が図られた。		
		学校係	問題	学校、保護者からの運行(乗車)要望の増加、運行経費の増加。		
			対策	①継続 乗車の必要性についての検証及び乗車規則の丁寧な説明や車両の縮小化、路線の一本化、減便の検討をする。		
			事業費	125,921	127,920	125,228
06	特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	目的	特別に支援が必要な児童生徒への学習・生活支援を行う。		
			概要	特別に支援が必要な児童生徒への学習・生活支援のための特別支援教育支援員の配置。		
			成果	児童生徒への支援の実施により、学校生活への適応や学力の定着が図られた。		
		学校係	問題	特別に支援を要する児童生徒が増加傾向にある。支援員活用方法の理解に学校間で差がある。		
			対策	①継続 適切な就学指導と保護者との教育相談の実施及び学校の支援体制の強化、支援員の適正な配置。		
			事業費	35,201	50,539	62,491
07	学習サポート事業	学校教育課	目的	中学生に対し英語でのコミュニケーション能力の育成と国際感覚を身に付けさせる。		
			概要	町内の中学校4校で英語ライブ授業、異文化体験語学研修、英検受検、学習教材の提供を行う。		
			成果	生徒の英語でのコミュニケーション能力の向上と言語や文化に対する理解が深まった。		
		学校係	問題	コロナ禍で海外交流事業を中止しているため、モチベーションが下がることが懸念される。		
			対策	①継続 英語を学ぶ体験が学校での普通の英語の授業内容と関連できるよう検討する。		
			事業費	9,085	8,493	8,440
08	各種大会等出場助成事業	学校教育課	目的	児童生徒に活躍の場と機会を与え、一人ひとりの自己実現を図る。		
			概要	中学生の中体連等大会出場に係る経費の援助など。		
			成果	各種大会やコンクールなどで上位の成績を目指し、すばらしい成績を収めることができた。		
		学校係	問題	大会参加におけるバスの確保。		
			対策	①継続 バス借り上げの仕方を検討。		
			事業費	7,438	1,024	7,000

09	小学生農山漁村交流事業	学校教育課	目的	他地域の自然や文化・生活に触れることで視野を広げ、郷土や社会を支える人材育成を図る。			
			概要	小学5年生を対象に、本町とは環境が全く違う海沿いの地域で宿泊体験や自然体験活動を行い、見聞を広める。			
			成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施。			
		学校係	問題	町内の児童同士の交流の場と機会の確保。			
			対策	①継続 町内の学校全体の混合班での活動。			
事業費	7,742	0	6,464	6,400			
10	学校教育力向上プラン事業	学校教育課	目的	学級マネジメント能力(学級経営力)を向上させ児童生徒の生活と学習面の指導の向上を図る。			
			概要	QU式検査の実施により学級の実態を把握し、指導に役立てる。			
			成果	望ましい学級集団づくりや個に応じた手立てのための資料として活用でき、いじめ防止対策にもつながった。			
		学校係	問題	検査結果の効果的な活用について、さらなる指導に役立つ方法の検討。			
			対策	①継続 学校教育指導委員会(各校1名)による情報交換や研修機会の充実。			
事業費	131	866	851	800			
11	複式学級支援事業	学校教育課	目的	非常勤講師を配置し、学習指導・生徒指導の充実を図る。			
			概要	複式学級となる学校に県配置加配教員の時数不足分を町が負担し、非常勤講師として雇用する。			
			成果	きめ細やかな学習指導の充実を図り、基礎学力の向上に努めた。			
		学校係	問題	今後の町内の小中学校の児童生徒数の推移からの配置基準の設定。			
			対策	①継続 小学校2年生以上については県の加配基準に基づき、小学校1年生を含む場合は町学習支援員を配置。			
事業費	4,135	3,145	3,275	3,200			
12	外国青年招致事業費	学校教育課	目的	外国語指導助手を招致し、小・中学校の英語指導の充実を図る。			
			概要	小・中学校の英語指導のため外国語指導助手を招致する。			
			成果	英語教育の充実と学力の向上が図られた。			
		学校係	問題	外国語指導助手の有効活用と勤務規律の保持。			
			対策	①継続 教育委員会の指導の徹底と南会津地方広域圏組合との連携強化。			
事業費	22,506	22,660	24,788	24,700			
13	教職員住宅管理費	学校教育課	目的	教職員の生活環境の充実を図る。			
			概要	教職員住宅の管理・整備充実。			
			成果	住宅環境の整備により、生活環境の充実が図られた。			
		学校係	問題	教職員住宅の老朽化により、建て替え等が必要。			
			対策	①継続 教職員住宅の計画的な修繕、廃止等検討する。			
事業費	3,878	1,122	1,040	1,000			
14	郷土愛を軸としたキャリア教育推進事業	学校教育課	目的	次世代を担う人材として、町を愛し、将来町に貢献しようとする人材を育成する。			
			概要	町内の小中学校において、地域について学ぶ学習活動や地域での職場体験学習等を取入れる。			
			成果	H29年度から実施し、副読本の活用や町を知る成果につながった。			
		学校係	問題	現状では特にない。			
			対策	①継続 教育委員会が主催する教職員対象の「南会津町の教育を考える会」などを通じて事業を推進する。			
事業費	0	0	0	0			
15	県立高校魅力化事業	学校教育課	目的	町内にある2つの高等学校(田島・南会津)の入学生徒を確保する。			
			概要	英語が使える人材育成計画とも関連させ、高校1年に異文化体験施設(ブリティッシュ・ヒルズ)での体験学習をする機会を設ける。			
			成果	中学校での「英語が話せる人材育成事業」を土台に、高校生になっても英語によるコミュニケーション能力や言語、文化に対する理解が深まった。			
		学校係	問題	中学校での学習サポート事業を土台に、高校生になっても英語によるコミュニケーション能力や言語、文化に対する理解が深まった。			
			対策	①継続 高校卒業まで簡単な日常英会話が可能になるよう小学校・中学校の学びを昇華させる事業となる。			
事業費	2,445	505	2,658	2,600			
16	ブーメラン奨学金の活用	学校教育課	目的	次代を担う人材として、町を愛し、将来町に貢献しようとする人材(医療面)を育成する。			
			概要	地元の医療機関で働く看護師の育成。(町の医療機関に勤務することで返還免除の規定あり)			
			成果	H26年度からこれまでに奨学生7名、現在貸与中2名、返還猶予中5名で成果としては今後になる。			
		学校係	問題	奨学希望者を増加させたい。			
			対策	①継続 町に貢献する人材の育成のために、貸与条件等の規定を再考。			
事業費	0	0	0	0			

17	ICT教育推進事業	学校教育課	目的	高度化する情報化社会の中で、子どもたちの生きる力を養うために環境整備を行う。			
			概要	各小中学校の普通教室に通信ネットワーク網を整備し、ICT機器(電子黒板・書画カメラ・学習用タブレット)を導入した。			
			成果	ICT機器を活用した教育の充実が図られ、児童生徒の学習意欲の向上につながった。			
		学校係	問題	ICT機器を活用した教育活動の推進方法、授業での活用の促進。			
			対策	①継続 各校での効果的な活用方法について町全体で共有する場と機会の設定。			
			事業費	16,690	171,238	32,222	32,200
18	山村留学受入事業	学校教育課	目的	児童生徒が一定の集団の中で切磋琢磨しながら学ぶことができる教育環境を整備する。			
			概要	町の現状を踏まえ、山村留学の受入の可否について調査・検討をする。			
			成果	山村留学事業予備調査及びコンサルティング業務委託をし、調査報告書を作成した。			
		学校係	問題	受入れ体制づくりと地域への周知。			
			対策	①継続 短期山村留学を実施し、体制づくりを進める。			
			事業費	96	5,588	6,848	35,000
19	英語が話せる人材育成事業	学校教育課	目的	今後の地域を担う人材として、高校卒業までに簡単な日常会話できる人材を育成する。			
			概要	発達段階に応じて英語教育を推進する。(小学校5・6年生年間3回、3・4年生年1回、英語ライブ授業を実施)			
			成果	英語に対する興味、関心を持つ児童が増えている。			
		学校係	問題	特になし。			
			対策	①継続 副読本の活用との関連できるよう調整する。			
			事業費	1,990	1,971	1,960	1,900
20			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
21			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
22			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
23			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
24			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
事業費の合計(千円)			264,442	424,788	313,509	340,700	